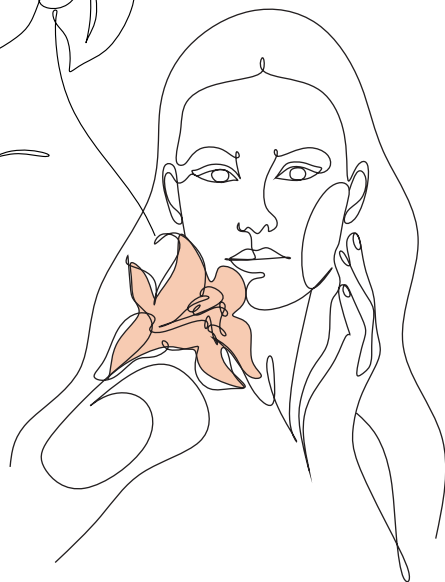




Religions for Peace Japan

Women's
Committee



40th Anniversary Theme

Action with All Beings
～声なき声に寄り添う～

Contents

女性部会40周年に寄せて WCRP日本委員会女性部会部会長 WCRP日本委員会理事長	P1
女性部会40周年に寄せて WCRP国際事務総長 WCRP国際女性ネットワーク共同議長 アジア太平洋女性信仰者ネットワーク(APWoFN)議長	P2
世界とつながる女性部会 WCRP世界大会女性会議 ACRP大会女性会議 アジア太平洋女性信仰者ネットワーク(APWoFN)	P3
女性部会の活動 いのちに関する学習会 宗教別学習会 ワークショップ アドボカシー（啓発）活動	P4 - 5
女性部会のビジョン	P6
世界宗教者平和会議（WCRP）とは	P7
女性部会のご紹介 女性部会委員 女性部会の活動に参加して 女性部会会員になるには SNS	P8 - 9



On the Occasion of 40th Anniversary 女性部会40周年に寄せて

女性部会は、2021年に創立40周年を迎えました。創設時、「婦人部会」として始まったこの部会は、2012年のWCRP日本委員会が公益財団法人に移行したことを機に、「女性部会」と名称を変え、活動を続けてまいりました。

私たちは、違う宗教を持つ女性が、宗派を超えて世界の平和のために活動をしているグループです。

ここ10年を振り返りますと、いのちに関する学習会やワークショップ、宗教別学習会などの開催、また国際・アジアの女性ネットワークの取り組みに参画したりと様々な活動を行いました。

中でも特に力を入れて取り組んだのは、いのちを尊ぶという観点から、防災に関する啓発活動の一環として「災害時に備えて一発連絡がいきなり受け入れのてびき」を発刊したことです。

東日本大震災に被害を受けた方々の体験談を受け、現地にも足を運びました。私たち女性の宗教者に出来ることは何かと試行錯誤し取り組んだのが、このてびきの作成でした。多方面から大好評をいただき、活用していただいております。そのような声を力に、今までの活動をもとに、女性ならではの視点なくしては出来ない活動を、これからも展開して参ります。



WCRP日本委員会女性部会部会長
森脇友紀子（カトリック東京大司教区アレリヤ会会長）

WCRP日本委員会女性部会創設40周年、誠におめでとうございます。

WCRPの動きは、世界平和の実現のために国内外の宗教者が共に手を携えて祈り、行動することです。その中で、信仰をもって、それに生きる女性たちの活動は、いのちに対する深い慈しみに溢れていると私は思います。世界の貧困、病気、飢餓、難民、暴力など、小さないのちが傷つき、苦しみ、泣き、呻いているのを見過ごすことができない女性たちの祈りと活動は、平和の根源と意味は何であるかをいつも私たちに教えてくれているように思います。

2019年8月、ドイツのリンダウで開かれた第10回WCRP世界大会では、初めて女性事務総長を選出し、また、これまで女性の地位が低いとされてきた地域での女性たちの目覚ましい活躍ぶりが報告されました。WCRP日本委員会女性部会でも、災害時における発達障がい児者のケアなど、生命を慈しむ宗教者の視点から取り組んでこられたことに



深い感動を覚えるとともに、女性宗教者たちの世界平和への使命と役割の大きさを感じます。

この40年間、女性部会の歩みとそこのお働きに関わってくださった多くの皆様に、今、改めて心からの感謝をささげ、今後のご活躍をお祈りいたします。

WCRP日本委員会理事長
植松 誠（日本聖公会主教）



In the Decade of 40th Anniversary 女性部会40周年に寄せて



WCRP国際事務総長
アツタ・カラム博士

WCRP日本委員会女性部会の活動は、WCRPが行う活動のバックボーンであると強く信じます。女性部会の活動は、WCRPという運動体の非常に重要な価値を形作り、定義しています。それは、女性部会がたゆまぬ努力と無私の精神で、常に地域社会への奉仕のために働いているからです。これこそまさに、「Religions for Peace」が掲げるべきものなのです。皆さんの長年の成果と功績は、「Religions for Peace」の成果の象徴でもあります。WCRP日本委員会女性部会は、諸宗教の運動として成功するとはどういうことかを示す模範となっています。女性部会が掲げた「Action with All Beings-すべての声なき声に寄り添う」は、女性部会の活動を明確に表しており、今後何十年間にわたって、皆様の積極的な活動を定義し続けることになるかと確信しています。



WCRP国際女性ネットワーク
共同議長 シスター・アガタ

私たちは、異なる宗教背景をもつ宗教者が共通の人間性向上のために共に働くよう其々の宗教上の信条の息吹を受けて集っています。女性部会の皆様は、40年間にわたり、現代の人間が直面している大切な事柄や課題に対し、大きな一つの声となって、奉仕活動を率先されてこられました。私は、皆様の多岐にわたる活動により、日本社会において平和と調和のために多くの成果を掲げられ、平和と人間開発を推進されてきたことに篤く感謝いたします。40周年記念を祝して、WCRP日本委員会女性部会がますます力を発揮され、そのネットワークを通してより多くの人々の生き方の向上と、恒久の平和志向が高められ、人間性の開発・発展持続のために、真の平和のための女性、姉妹、友人として、これからも意義ある諸活動に積極的に取り組んでいかれますよう心からお祈りいたします。



アジア太平洋女性信仰者
ネットワーク (APWoFN)
議長 エルガ・サラパン

皆様は、難民や自然災害の被災者の支援、宗教も性別も発達障害も関係なく、さまざまなプログラム、直接的・間接的教育活動、そしてアドボカシーに関することまでなさってまいりました。WCRPで最初に創設された女性部会としての40年の経験は、私たちが行う平和運動の旅が、障害や脅威のない平和や平和主義の現実を自動的に生み出すわけではないことを証明しています。私は、この40年の経験が、女性部会で活動するすべての人々に、より成熟した、前向き且つ建設的で批判的な思考力を与え、APWoFNとのネットワークを強化し、様々な問題に対する協力の可能性を含め、平和活動に取り組み続けることができると信じています。これまで、そしてこれからも、ACRPファミリーや国際ネットワークの中で、共に取り組んでいく課題があります。女性部会が、ACRPや国際ネットワークにおける手本となることを願っています。



WCRP世界大会女性会議

世界宗教者平和会議（WCRP）は、5～7年に1度世界大会を開催し、平和な社会の実現に向けた目標を掲げています。2019年8月、ドイツ・リンダウで行われたWCRP第10回世界大会では、総合テーマを「慈しみの実践：共通の未来のために——つながりあういのち」とし、女性が多くの中で活躍しました。その一つが女性事前会議です。諸宗教の教典に女性の地位と役割を示した発刊物「女性の尊厳—教典を振り返る」が紹介されました。また、大会のグローバルギャラリーでは、私ども女性部会が2018年5月に発刊した『災害時に備えて—発達障がい児者受け入れのてびき』を発表。諸宗教間協力と対話の未来を展望に、大会テーマを生かし、活動企画を引き続き提示していきたいと思ひます。



ACRP大会女性会議

アジア宗教者平和会議（ACRP）は、アジアの宗教者による平和と連帯を促進するために、1976年に設立されました。世界宗教者平和会議（WCRP/Religions for Peace）の地域委員会として、中東やアジア、南太平洋の国々から21カ国の諸宗教評議会（国内委員会）が加盟しています。約5年に1度、アジアの宗教者が一堂に会するACRP大会が開催されており、これまでに9回の大会が開かれました。ACRP大会とあわせて開かれてきた女性事前会議では、アジアの女性が直面する諸問題（例えば人身売買や性的搾取など）を明らかにし、女性の人権を守るための取り組みを促しています。



アジア太平洋女性信仰者ネットワーク（APWoFN）

多様な宗教、多様な文化を背景に持つACRPの女性リーダーたちが集まり、女性宗教者としての視点から様々な問題解決を目指すグループです。2022年からは、インドネシアのエルガ・サラブン議長、タイのスファメット・ユンヤスィット副議長、日本の河田尚子事務局長のもと、オーストラリア、バングラデシュ、インド、中国、韓国、ミャンマー、ネパール、パキスタンの女性宗教者をメンバーに活動しています。APWoFNは、ACRPのフラッグシッププロジェクトの中から、活動テーマを「人身取引」「気候変動」「平和構築と和解」の3点にしぼり、シンポジウムやE-Bookの発行をおこなっていく予定です。メンバーの宗教はキリスト教、イスラーム、仏教、ヒンドゥー教ですが、アジア太平洋地域にはそれ以外にも様々な宗教が存在しています。そうした人々のご協力、ご意見も仰ぎながら活動してまいります。



WCRP大会女性会議



2019年会報10月号



ACRP大会女性会議



2021年会報11月号

いのちに関する学習会

女性部会では宗教を持つ諸宗教の女性の立場から、いのちの問題を考えるために、毎年「いのちに関する学習会」を開催し、教育・貧困・医療等さまざまな視点から学びを深めています。

女性部会はこの10年間で、病者や高齢者や障がいを持つ方々に寄り添い、子どもたちの自己肯定感を高め、いのちの始まりである胎児の命を護り、生命倫理では遺伝子組み換え食品の有害性についてなど、幅広いジャンルの専門家から学び、女性部会の諸活動につなげてきました。

これからも“いのち”を互いに大切にし、育み慈しみ合うことを活動の中心におきながら、内容豊ないのちの神秘や尊さを身近なところから探究し、いのちの喜びを発見してまいります。



- 写真は2019年に開催した「『障がい』について実践的に学ぶ」学習会の様子。障がい平等研修（DET）フォーラムの講師を招いた。



宗教別学習会

年に一度、日本各地の様々な宗教団体を訪問し、教義について学んだり、信者の方々の活動に参加したり、施設の見学など、理解を深める活動を行っています。

例えば、黒住教本部では日の出の際の日拝に参加、カルメル会ではヴィッパサナー瞑想の体験、生長の家では再生可能エネルギーへの取り組みを学ぶなど多様な経験を行ってまいりました。

2020年は新型コロナ流行のため、活動を自粛せざるを得ませんでしたが、2021年にはムスリム世界連盟日本支部のご協力をいただき、オンラインでサウジアラビアのメッカにあるイスラームの聖地、カバ聖殿見学を果たすことができました。ここは本来イスラーム教徒以外は立ち入ることができないところで、貴重な経験となりました。

日本の多様な宗教の在り方と平和共存の様子を肌で感じてみませんか。

訪問先（2013～2019）

- 伊勢神宮(三重)、一燈園・浄土院総本山知恩院(京都)、秩父神社(埼玉)、黒住教本部(岡山)、カルメル会上野毛聖テレジア修道院(東京)、伊弉諾神宮(兵庫)、生長の家(山梨)



ワークショップ

女性部会は、自殺者の増加や青少年の「孤独化」などの深刻な問題が指摘される中で、根本的に最も大切な「いのち」について真摯に向き合う必要性を痛感し、15歳から25歳の青少年を対象に「いのちについてのアンケート」調査を計画し、2011年と2012年に実施しました。

このアンケート結果を踏まえて、「いのち」の大切さを伝え、互いの尊厳に敬意を示し、建設的に関係を構築する方法を学んでいくために、「親子間のコミュニケーション法」や「アンガーマネジメント／自己肯定感を高める」などのワークショップを行っています。

- 「いのち」の定義、アンケート概要、結果
- 分析、課題と提案など7章で構成されている。※A4版96ページ頒価500円



アドボカシー(啓発)活動

東日本大震災後に交流した、気仙沼市の障がい児者をもつお母さん達の声がきっかけとなり、災害時に備えて要配慮者の受入れ準備を促すアドボカシー(啓発)活動の一環として、このたびきを完成させました。専門家はじめ、多くの方のお知恵やアドバイスをいただき、災害時の混乱を当事者の身になって考えてみる貴重な機会でもありました。毎年さまざまな形で起こる自然災害に日ごろから備え、配慮が必要な方が取り残されない社会の実現に向けて、このたびきがお役にたてれば大変ありがたいです。

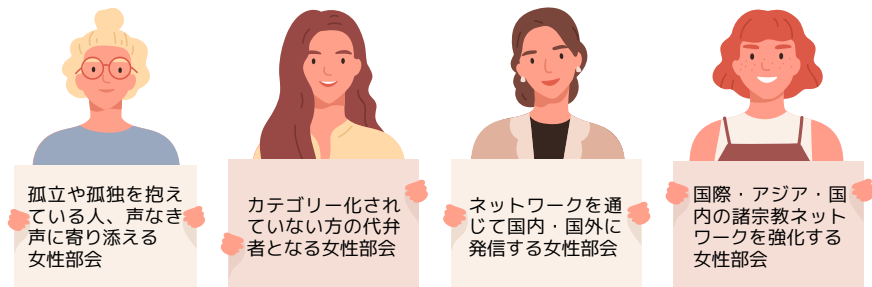
- 事前の準備、災害時にできること、実践資料をまとめた三部で構成されている一冊。
- ※A4版37ページ頒価500円/PDF版は無料



女性部会は、2030年に向けての行動目標である「WJアジェンダ2030*」に積極的に取り組んでいきます。特に、アジェンダ1「国際的“サバイバル”目標達成に向けた世界の宗教ネットワークの強化」をめざします。（5年計画）

2027年までのVISION（ビジョン）

私たちが目指す女性部会



2027年までのACTION（行動）

女性部会メンバーの拡充

活動の発展と活性化を目指し、より透明性のある活動の発信や積極的な対話を通して、女性部会委員、会員を拡充します。

学習会からの学び⇒社会・政府への提言

いのちの問題を考えるために開催している学習会やセミナーから得たさまざまな視点や学び、女性部会としての思いや考えを社会や日本政府へ積極的に発信します。

国際女性デー（3月8日）への祈りと取り組み

世界中の女性の権利を守り、女性の活躍を支援するために、1977年に国連が制定した「国際女性デー」に、さまざまな信仰を持つ女性が集まる女性部会として祈り、行動します。

タスクフォース（特別事業部門）への積極的参画

WCRP日本委員会が世界の諸課題解決のために設置するさまざまなタスクフォースと連携し、女性部会の意見や視点を日本委員会の活動に提案します。



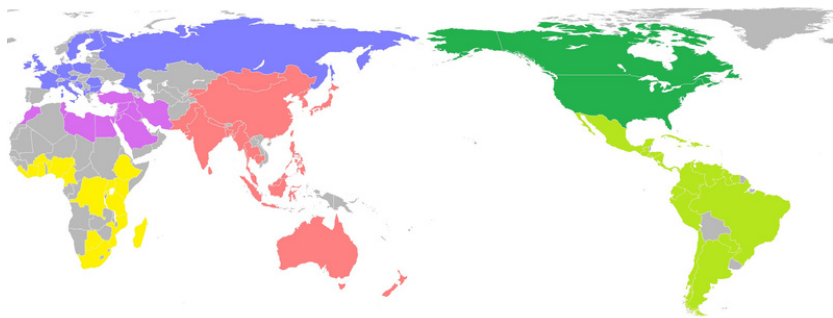
*WJアジェンダ 2030



World Council of Churches (WCC) for Peace

世界宗教者平和会議 (WCRP) とは

世界宗教者平和会議 (WCRP) は1970年に発足した国際NGOです。国連経済社会理事会に属し、1999年に総合協議資格を取得。世界90カ国以上にわたる国際諸宗教ネットワークとして諸宗教の対話・協力を通じた紛争和解や平和教育などの平和構築活動を行っています。WCRP日本委員会は、1972年に日本宗教連盟の国際問題委員会を母体として発足し、国際諸宗教ネットワークの一員として活動しています。WCRPに参加する世界の宗教は、それぞれ教えも伝統も異なりますが、人々の幸せと世界の平和を願う気持ちは共通のものです。民族や伝統、考え方などの違いを認め合い、尊重しながら、生きていける社会をめざしています。WCRPは、諸宗教間の対話により相互理解を深めるとともに、諸宗教の叡智を結集し、平和を志すさまざまな分野の人々と協力し平和を齎らす課題の解決に取り組んでいます。



- アフリカ** ベナン ブルキナファソ ブルンジ カメルーン コートジボワール コンゴ共和国
エチオピア ガーナ ギニア ケニア リベリア マラウィー モーリシャス
モザンビーク ナイジェリア シエラレオネ 南アフリカ スーダン タンザニア
ウガンダ ザンビア ナイジェリア ボツワナ 中央アフリカ共和国 コモロ諸島
マダガスカル レユニオン島 ルワンダ セーシェル 南スーダン トーゴ
- アジア** オーストラリア バングラデシュ カンボジア 中国 北朝鮮 インド インドネシア
日本 キルギスタン マレーシア モンゴル ミャンマー ネパール ニュージーランド
パキスタン フィリピン シンガポール 韓国 スリランカ タイ 東ティモール
- ヨーロッパ** アルバニア オーストリア ベルギー ボスニア・ヘルツェゴビナ ブルガリア
フィンランド フランス ドイツ イタリア オランダ ルーマニア ロシア
ポーランド スペイン 英国 クロアチア アイルランド マケドニア スウェーデン
- ラテンアメリカ** アルゼンチン ブラジル チリ コロンビア コスタリカ エル・サルバドル
グアテマラ ガイアナ ハイチ ホンジュラス ジャマイカ メキシコ パナマ
- カリブ諸島** パラグアイ ペルー スリナム トリニダードトバゴ バルバドス ボリビア
キューバ ドミニカ共和国 エクアドル ニカラグア プエルトリコ ウルグアイ
ベネズエラ
- 中東** イラク イスラエル イラン パレスチナ チュニジア レバノン エジプト
- 北アフリカ** シリア トルコ サウジアラビア リビア モロッコ ヨルダン
- 北米** カナダ アメリカ合衆国





About Women's Committee 女性部会のご紹介

女性部会委員 (2022.09.10現在)

部会長 森脇友紀子 (カトリック東京大司教区アレルヤ会会長)

副部会長 河田尚子 (アル・アマーナ代表)

事務局長 田中佑佳子 (立正佼成会)

黒住昭子 (黒住教婦人会会長)

小宮山延子 (カトリック)

早乙女澄子 (妙智會教団婦人部本部長)

眞田 翠 (立正佼成会)

田爪希依 (立正佼成会調布教会教会長)

対馬真緒美 (カトリック東京大司教区アレルヤ会)

林 恵智子 (全日本仏教婦人連盟顧問)

深田章子 (円応教海外布教センター所長)

本多端子 (全日本仏教婦人連盟理事)

松井ケティ (清泉女子大学教授)

和田恵久巳 (立正佼成会総務部長)

歴代 山本 杉 (全日本仏教婦人連盟理事長) 1981～1988

部会長 二條恭仁子 (全日本仏教婦人連盟会長) 1989～2000

泉田佳子 (芳澍女学院情報国際専門学校校長) 2001～2009

森脇友紀子 (カトリック東京大司教区アレルヤ会会長) 2010～現在

女性部会の活動に参加して

いのちに関する学習会に参加して...

講演で学べたことが、グループ討議でとても具体的に、また日常ですぐ実行できるものになりました。基本的なことを学べたことがありがたかったですし、今後も継続して学びを深め、現実にかけている課題にも目を向けていきたいです。

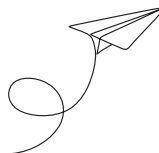
子どもの自己肯定感を高めるためのワークショップに参加して...

・宗教を持つ持たないに関係なく、こういう場があるのがいいなと思いました。
・新しく知れたことが沢山あり、他宗教の方とのワークがとてもよかったです。



宗教別学習会に参加して...

・全てのセッションが楽しく、特に質疑応答は興味深かったです。宗教について話す機会は日本ではあまりないので、いろいろな方と共有・交流できてよかったです。
・WCRPでなければ触れることのできない貴重な経験でした。差別のない、互いに尊重できる世界のために、知ることは大切なことだと思います。



女性部会会員になるには

WCRP日本委員会にお問い合わせください。申請書をお送りします。

申込書に必要事項をご記入いただき、事務局に郵送・FAX・Eメールでお送りください。

理事長の了承を得て、入会の手続きが完了となります。

手続き完了後、ご連絡させていただきます。

女性会員に関する詳細につきましては、以下の規定をご参照ください。



会員に関する規程・・・

第3条 この法人の趣旨に賛同し、WCRP日本委員会女性部会の活動に継続的及び主体的に参加する女性は、理事長の承認を経て女性会員となることができる。

第8条 会員は、入会するときに年会費を納め、以後、別に定める終身の賛助会員資格を有する者を除き、年会費を納入しなければならない。

2 年会費は会員種別に応じて下記各号のとおりとする。

女性会員 1口 3千円（1口以上）

女性部会会員になると・・・

WCRP日本委員会女性部会が主催する学習会、ワークショップへのご案内をお届けします。

WCRP日本委員会の各活動をご報告する会報「WCRP」を月に一度お届けします。

WCRP日本委員会が主催する学習会(年数回)および新春の集いへのご案内をお届けします。

1年間の活動をまとめたWCRP日本委員会の年次報告書を年に一度お届けします。

女性部会のSNS



Facebook



Instagram



WCRP日本委員会
ウェブサイト



公益財団法人

世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会

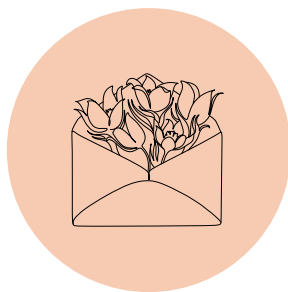
〒166-8531 東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター3F

Tel: (03) 3384-2337

Fax: (03) 3383-7993

Email: rfpj-info@wcrp.or.jp

Web: <https://www.wcrp.or.jp>



(公財) 世界宗教者平和会議 (WCRP) 日本委員会女性部会
2022年9月10日発行